Chromebook オンボーディング用の ISE 2.1 を設定する

目次

概要

このドキュメントでは、Chromebook のオンボーディングに対して Cisco Identity Service Engine（ISE）バージョン 2.1 およびワイヤレス LAN コントローラ（WLC）を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

以下に関する基本的な知識があることが推奨されます。

- Cisco Identity Services Engine
- Google 管理コンソール
- Chromebook 用のドメイン登録ライセンスとデバイス ライセンスの購入およびインストール

使用するコンポーネント

- ISE 2.1
- WLC バージョン 8.0.133.0
- Chromebook（ドメイン登録ライセンスとデバイス ライセンスを購入済み）

フローの概要

フローは、Cisco Network Setup Assistant（NSA）をクライアントにプッシュする時期に応じて異なります。

（ユーザがプロビジョニング SSID に接続する前に）Cisco NSA がアウトオブバンドで拡張機能に追加された場合

1. デバイスがドメインに登録され、Google 管理コンソールの設定に基づいて、Cisco NSA、WiFi 設定、証明書などが Chromebook によりダウンロードされます。

2. ユーザが MAB SSID に接続し、CWA にリダイレクトされます。

3. ユーザがクレデンシャルを入力します。 認証に成功すると、ユーザは BYOD ポータルにリダイレクトされます。

4. BYOD が開始されると、クライアントによって CSR が ISE に送信されます。

5. ISE によって証明書が生成され、ユーザ証明書がクライアントにプッシュされます。

6. クライアントにプッシュされた証明書を使用して、Chromebook が TLS SSID に再接続されます。

プロビジョニング SSID に接続した後に、Cisco NSA がダウンロードされた場合

1. ユーザが MAB SSID に接続し、CWA にリダイレクトされます。 リダイレクト ACL には、DNS、ISE、Google サーバ、Google ドメインへのアクセス権があります。

2. Google 管理コンソールで設定された Cisco NSA、WiFi 設定、証明書がデバイスによってダウンロードされます。

3. ユーザがゲスト ポータル ページでレデンシャルを入力します。 認証に成功すると、ユーザは BYOD ポータルにリダイレクトされます。

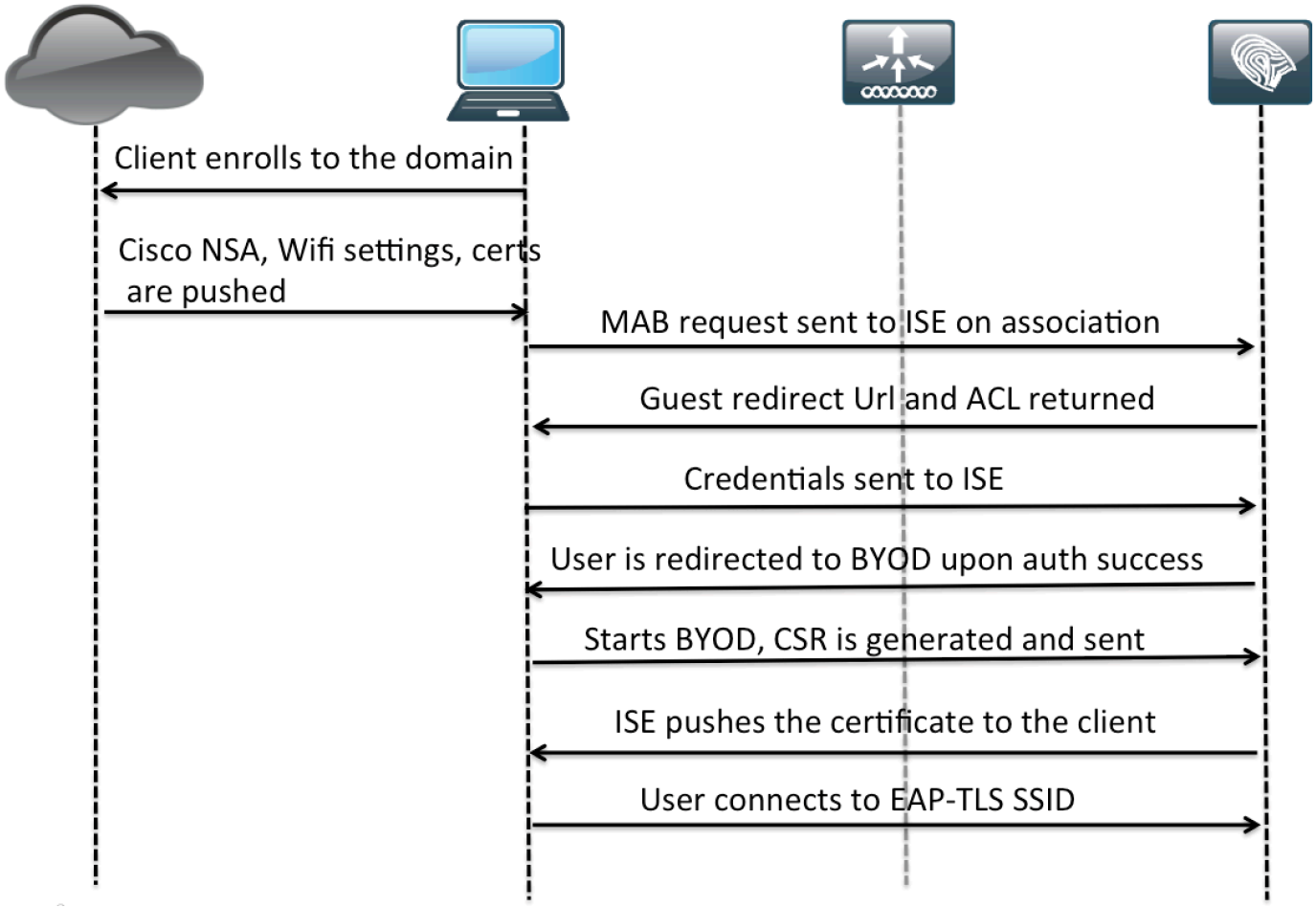
4. BYOD が開始されると、クライアントによって CSR が ISE に送信されます。

5. ISE によって証明書が生成され、ユーザ証明書がクライアントにプッシュされます。

6. クライアントにプッシュされた証明書を使用して、Chromebook が TLS SSID に再接続されます。

ネットワーク図

次のフローは、プロビジョニング SSID に接続する前に、Cisco NSA がエンドポイントに追加されるシナリオを示しています。



設定

MAB SSID への接続によるオンボーディング

ユーザは MAB SSID に接続し、プロビジョニングされた証明書を取得して EAP-TLS に接続します。

Google 管理コンソールの設定

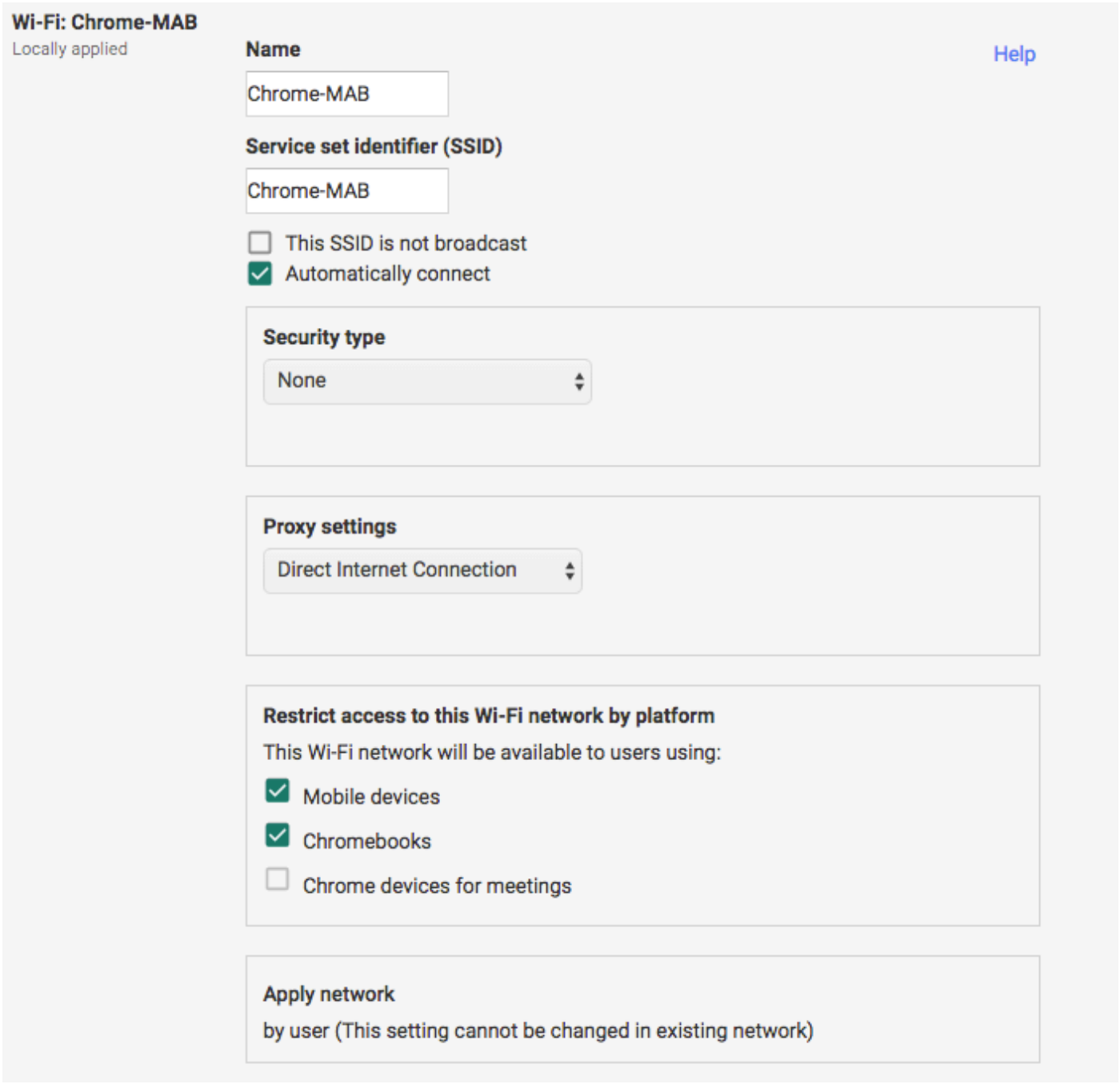
ステップ1: https://admin.Google.com にアクセスして、Google 管理コンソールにログインします。

ステップ2: [Device management] > [Networks] > [Wifi] を参照して 2 つの WiFi 設定を追加します（一方はプロビジョニング SSID 用、もう一方は EAP-TLS 用）。

サーバ認証局： EAP-TLS WiFi の設定項目を設定する際に、EAP に内部 CA を使用している場合は、[Device Management] > [Network] > [Certificates] で、CA 証明書チェーンを管理コンソールにアップロードしなければなりません。 アップロードした CA チェーンは、[Server Certificate Authority] でマッピングする必要があります。 サードパーティの CA を使用している場合は、CA チェーンを管理コンソールにインポートする必要はなく、[Server Certificate Authority] のドロップダウンから [Use any default Certificate Authority] オプションを選択します。

発行者パターン/件名パターン： [Issuer Pattern] または [Subject Pattern] の 1 つ以上の属性が、インストールされている証明書の属性と一致しなければなりません。

MAB SSID WifI の設定： Chrome-MAB



EAP-TLS SSID WiFi の設定： Chrome-TLS